

「宇都宮版CSR」の構築について

1 現状

- ・ 地球温暖化対策や子育て支援などの今日的課題において、企業の社会的責任としてのCSR活動に対する重要性の認識の高まりや、実践活動が盛んになっている。
- ・ まちづくりにおいて、地域の構成員としての企業との協働の必要性が一層高まっている。

2 基本的な考え方

- ・ 市内全ての事業者のCSR活動の社会的価値（信用）を高めることにより、活力あふれるまちづくりを形成するとともに、産業の振興を図ることを目的とする。
- ・ 制度の構築と実施にあたっては、市は、企業のCSR活動に対するモチベーションを高める仕組みや仕掛けづくりを行う役割を担うものとする。

3 「宇都宮版CSR」構築の方向性

- ・ 企業のCSR活動を市のまちづくりの重要な仕組と位置づけ、様々な分野での活動を総合的に支援・推奨していくことで、全国でもあまり例のない、企業・市民・行政の協働のまちづくりを行っていく
- ・ 「企業による人づくり」を重視するなど宇都宮らしさや、協働にあたっての特徴付けを行っていく
- ・ 「地元採用率」や「地元発注」など、地域貢献性を重視していく

4 具体的な検討事業等

- ・ 市民・企業に対するCSR活動の普及・啓発
⇒平成20年3月に「(仮) うつのみやCSR発表大会2008」を開催【別紙参照】
- ・ 企業のCSR活動を公認する認証制度の構築
- ・ 入札などにおける優遇制度の導入